（7）社会教育系施設：図書館

1）施設概要

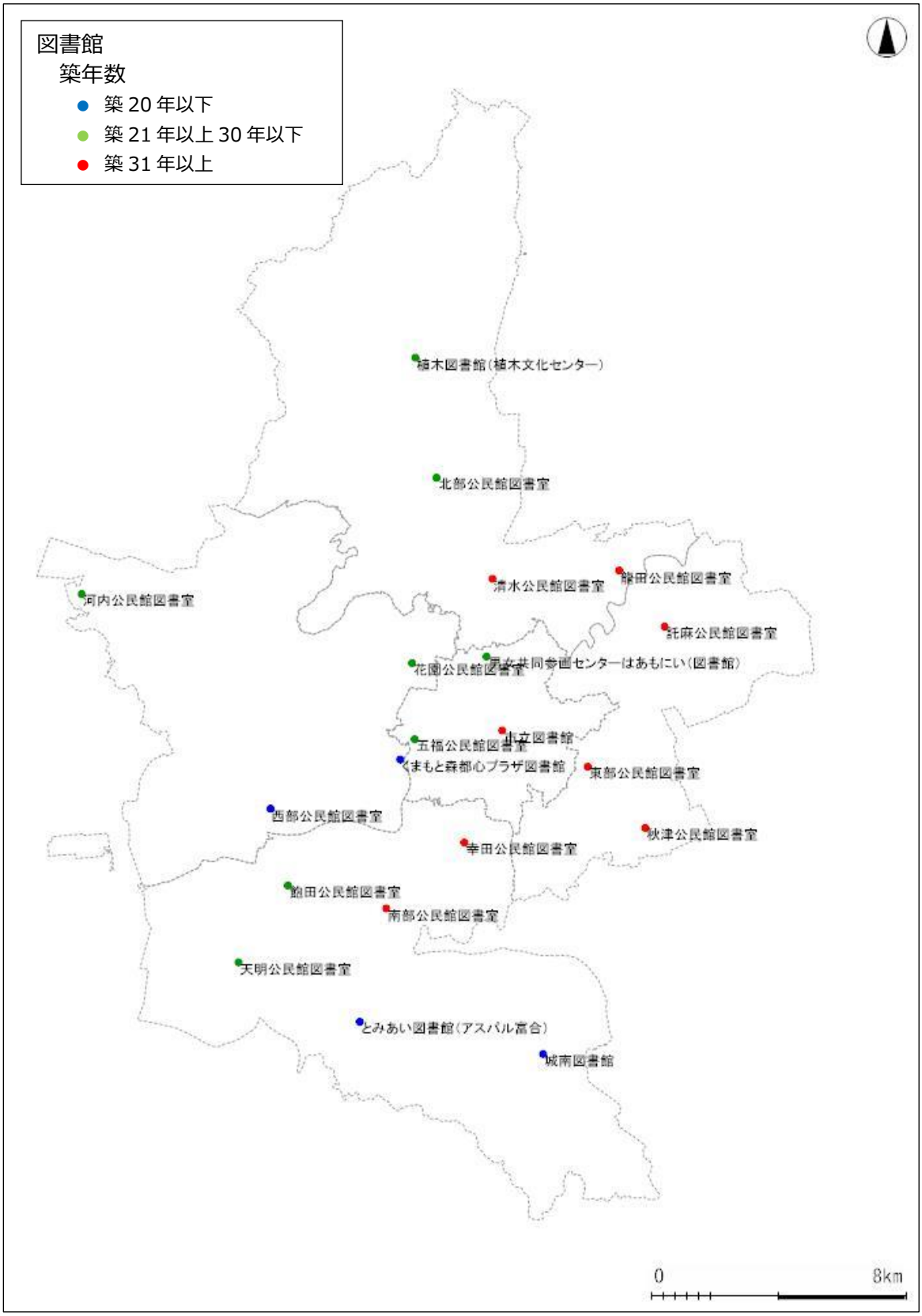
本市の図書館は、20 施設あります。総延床面積は約 1 万 7 千㎡で、市が保有する施設の 0.7%を占めます。築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 8 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 8 施設、築 20 年以下が 4 施設です。

①施設一覧（平成 30 年 4 月 1 日現在）

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	備　考
1	市立図書館	中央区大江 6 丁目 1 番 74 号	昭和 56 年	37	5,230.76	
2	城南図書館（図書館）	南区城南町舞原 451 番地 9	平成 25 年	5	1,531.14	市立図書館分館 児童館併設
3	五福公民館図書室	中央区細工町 2 丁目 25 番地	平成 3 年	27	260.01	
4	河内公民館図書室	西区河内町船津 791 番地	平成 2 年	28	149.92	
5	託麻公民館図書室	東区長嶺東 7 丁目 11 番 15 号	昭和 55 年	38	324.00	
6	秋津公民館図書室	東区秋津 3 丁目 15 番 1 号	昭和 60 年	33	247.40	
7	東部公民館図書室	東区錦ヶ丘 1 番 1 号	昭和 52 年	41	234.67	
8	西部公民館図書室	西区小島 2 丁目 7 番 1 号	平成 24 年	6	294.31	
9	花園公民館図書室	西区花園 5 丁目 8 番 3 号	平成 2 年	28	262.57	
10	飽田公民館図書室	南区会富町 1333 番地 1	平成 8 年	22	276.05	
11	天明公民館図書室	南区奥古閑町 2035 番地	平成 3 年	27	280.74	
12	幸田公民館図書室	南区幸田 2 丁目 4 番 1 号	昭和 57 年	36	277.05	
13	南部公民館図書室	南区南高江 6 丁目 7 番 35 号	昭和 62 年	31	277.18	
14	北部公民館図書室	北区鹿子木町 66 番地	平成元年	29	196.03	
15	清水公民館図書室	北区清水亀井町 14 番 7 号	昭和 59 年	34	212.43	
16	龍田公民館図書室	北区龍田弓削 1 丁目 1 番 10 号	昭和 54 年	39	297.00	
17	植木文化センター（図書館）	北区植木町岩野 238 番地 1	平成 5 年	25	625.06	市立図書館分館 正式名称：植木図書館
18	アスパル富合（図書館）	南区富合町清藤 400 番地	平成 14 年	16	871.44	市立図書館分館 正式名称：とみあい図書館
19	男女共同参画センターはあもにい（図書館）	中央区黒髪 3 丁目 3 番 10 号	平成 2 年	28	175.84	
20	くまもと森都心プラザ（図書館）	西区春日 1 丁目 14 番 1 号	平成 23 年	7	4,591.22	
合　計					16,614.82	

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 30 年 4 月 1 日現在）



2）実態把握

①運営状況（平成 30 年 4 月 1 日現在）

No	名　称	平日 運営時間	休館日	開館日数	蔵書数	運営方法 （直営、指定管理）
1	市立図書館	9:30～19:00	月曜日（月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日）・年末年始・特別整理日	300	551,232	直営
2	城南図書館（図書館）	9:30～20:00	第4水曜日（当該水曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日）・年末年始・特別整理日	344	84,619	指定管理
3	五福公民館図書室	9:30～17:00	月曜日（月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日）・年末年始・室内整理日・特別整理日	289	16,640	直営
4	河内公民館図書室	9:30～17:00		293	23,918	直営
5	託麻公民館図書室	9:30～17:00		284	33,550	直営
6	秋津公民館図書室	9:30～17:00		288	33,828	直営
7	東部公民館図書室	9:30～17:00		286	31,969	直営
8	西部公民館図書室	9:30～17:00		290	29,043	直営
9	花園公民館図書室	9:30～17:00		292	31,339	直営
10	飽田公民館図書室	9:30～17:00		291	32,021	直営
11	天明公民館図書室	9:30～17:00		291	24,103	直営
12	幸田公民館図書室	9:30～17:00		290	32,907	直営
13	南部公民館図書室	9:30～17:00		290	33,384	直営
14	北部公民館図書室	9:30～17:00		291	22,507	直営
15	清水公民館図書室	9:30～17:00		289	33,909	直営
16	龍田公民館図書室	9:30～17:00		281	34,152	直営
17	植木文化センター（図書館）	9:30～19:00		307	65,218	直営
18	アスパル富合（図書館）	9:30～19:00	月曜日（月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日）・年末年始・特別整理日	301	64,280	直営
19	男女共同参画センターはあもにい（図書館）	9:00～19:00	第2、第4月曜日（当該月曜日が休日に当たるときはその直後の休日でない日）・年末年始・特別整理日	330	18,945	指定管理
20	くまもと森都心プラザ（図書館）	9:30～20:00	毎月第3水曜日（当該水曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日）・年末年始・特別整理日	341	327,387	指定管理
合　計					1,524,951	

※市立図書館，城南図書館，植木文化センター（図書館）の蔵書数は移動図書館分を除く

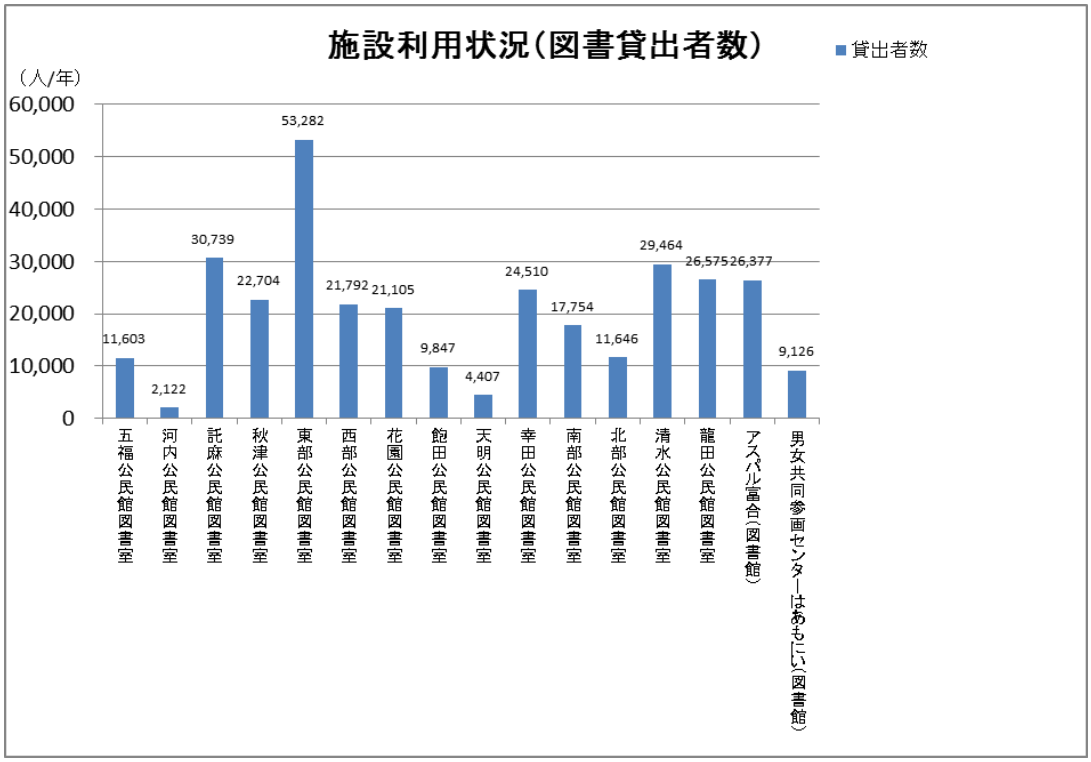
※開館日数は平成 29 年度実績

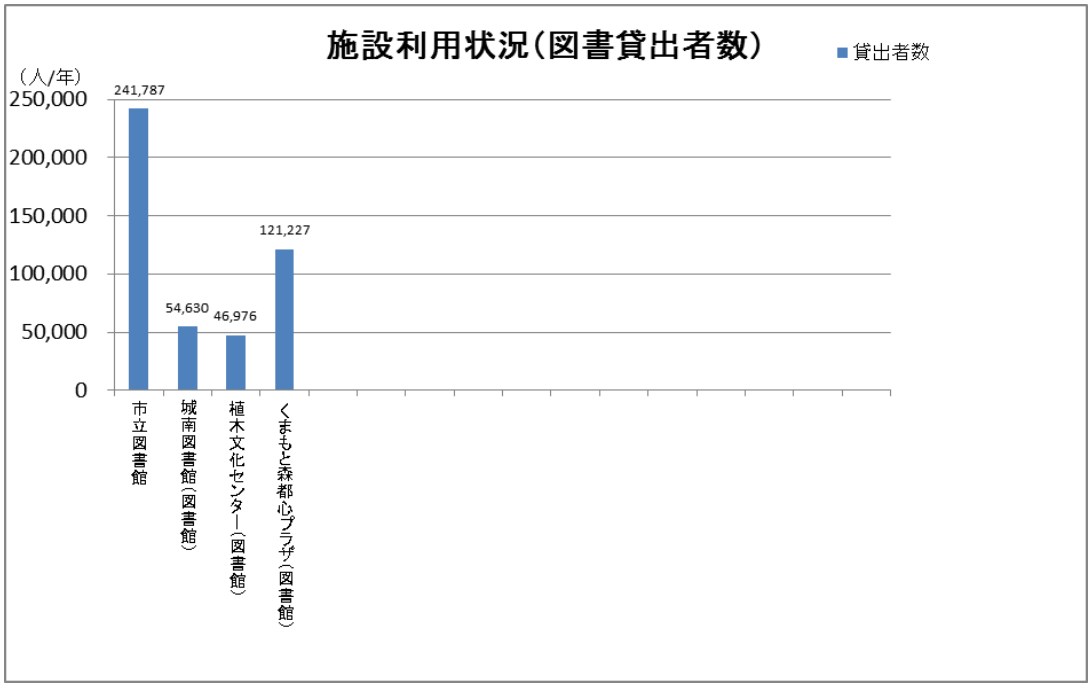
※開館日数及び蔵書数は図書館事業統計（平成 30 年）の数値を基にしています。

②利用状況

図書館の平成 29 年度の図書貸出者数は全体で約 79 万人です。施設別では、市立図書館が約 24 万人で全体の 31%を占めています。次いで、くまもと森都心プラザが約 12 万人で全体の 15%を占めています。他のほとんどの図書館が約 1 万人から約 3 万人ですが、中には 1 万人に満たない図書館もあります。

図表　施設別図書貸出者数（平成 29 年度）

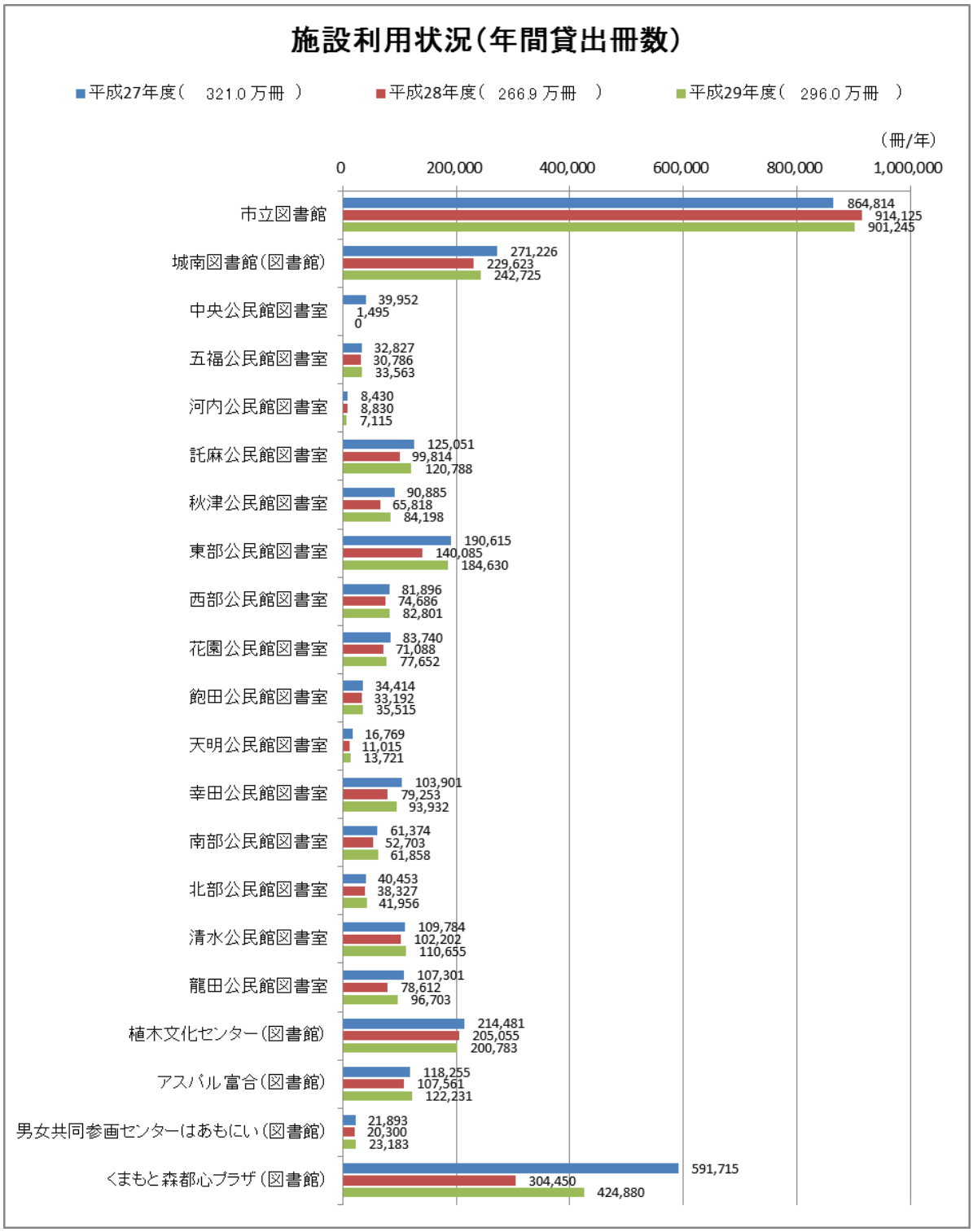




※　移動図書館を除く

平成 29 年度の貸出冊数は全体で約 296 万冊です。平成 28 年度と比較して、11%程度増加しています。施設別では、市立図書館が約 90 万冊で、全体の約 30%を占めています。

図表　年間貸出冊数の推移（平成 27 年度～29 年度）



※移動図書館を除く

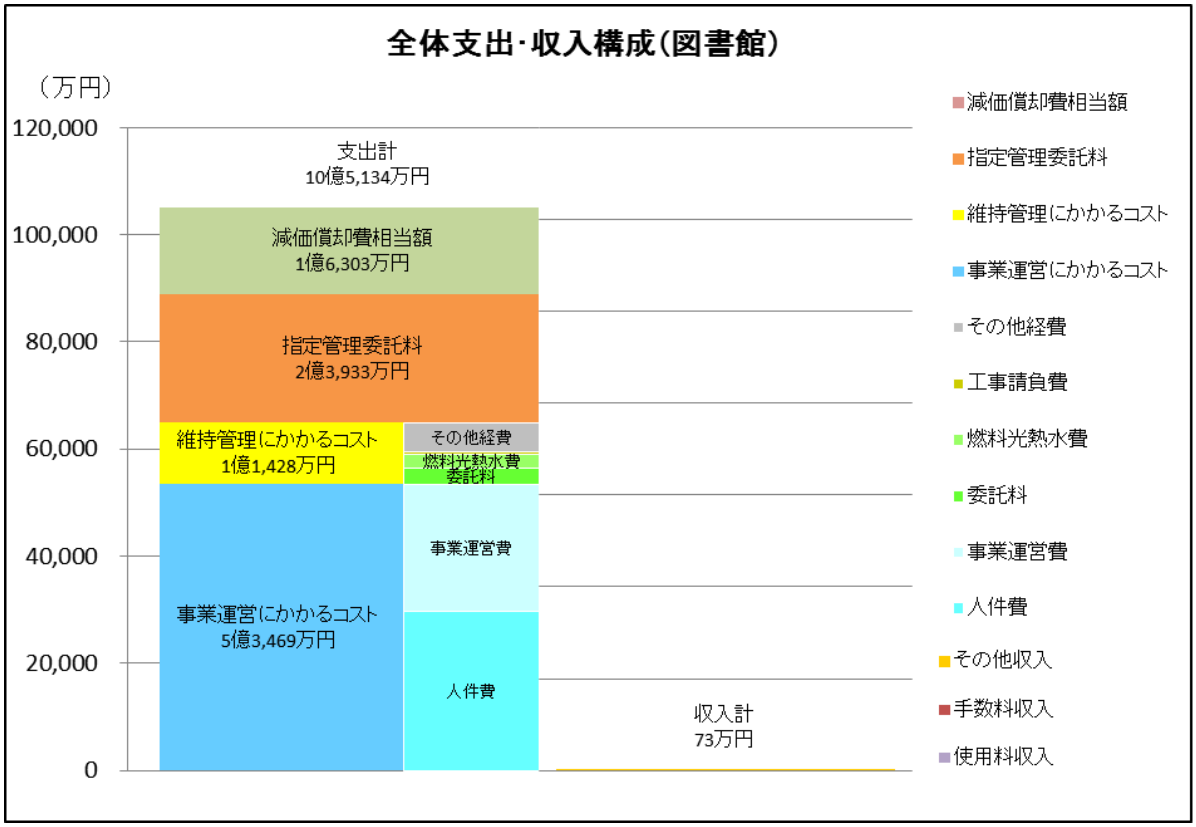
② コスト状況

年間トータルコストは、10 億 5,134 万円です。このうち、減価償却費相当額は 1 億 6,303 万円（15%）、指定管理委託料は 2 億 3,933 万円（23%）、施設にかかるコストは 1 億 1,428 万円（11%）、事業運営にかかるコストは 5 億 3,469 万円（51%）となっています。

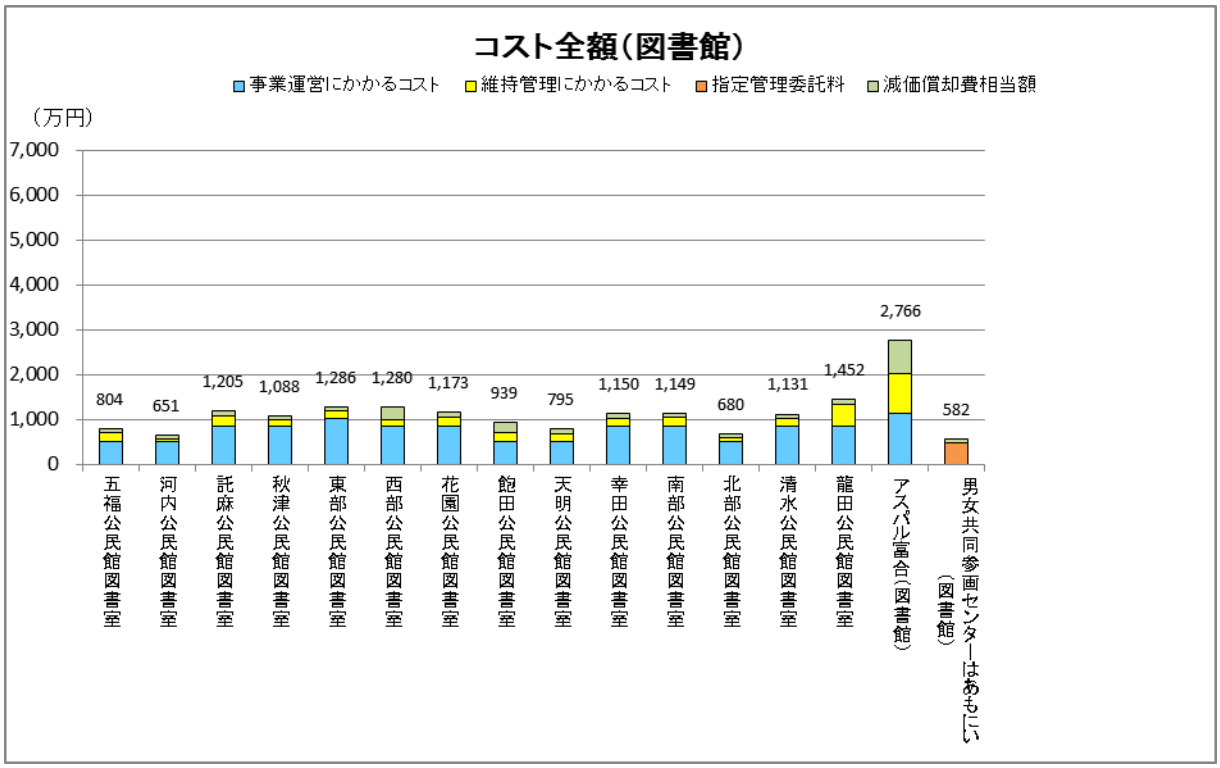
施設別では、市立図書館 4 億 214 万円で全体の 38%を占めています。次いで、くまもと森都心プラザが 3 億 3,037 万円で全体の 31%を占めています。

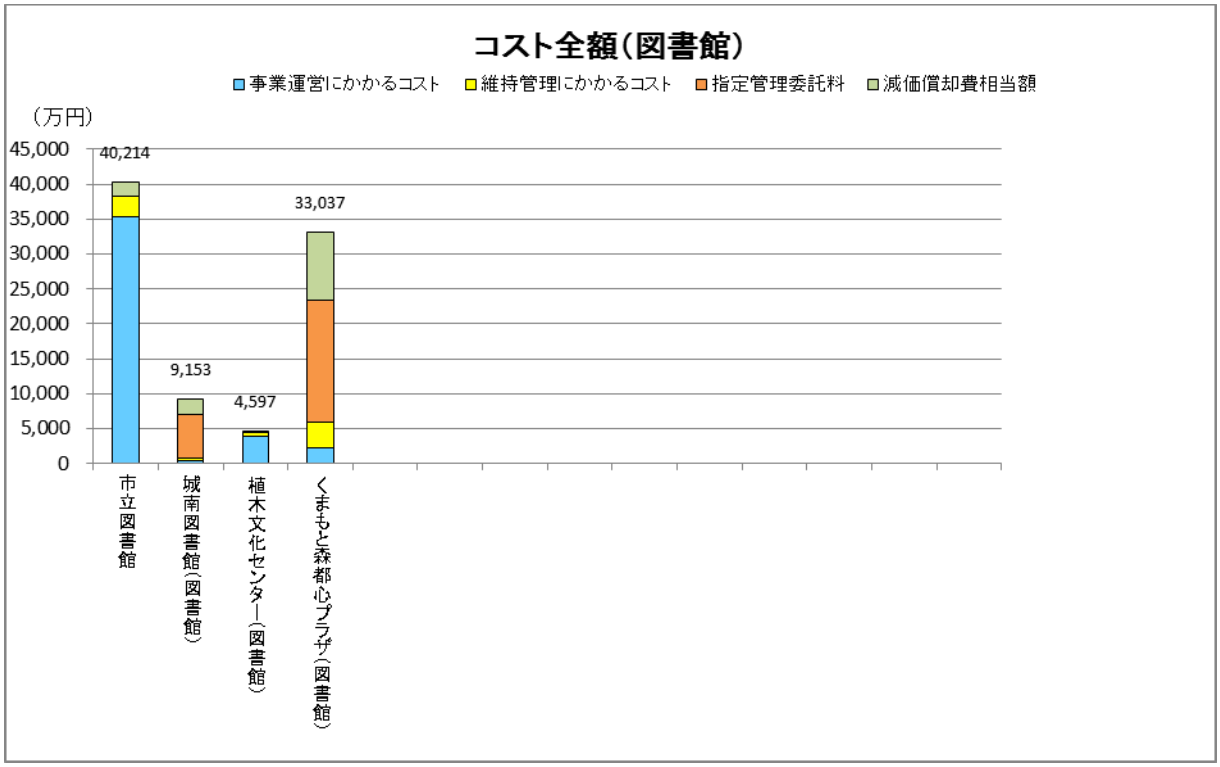
なお、市立図書館については、全図書館、全公民館児童室の図書管理システム等の中央機能を担っているため、事業運営にかかるコストが高くなっています。

図表　全施設トータルコスト（平成 29 年度）



図表　施設別コスト一覧（平成 29 年度）





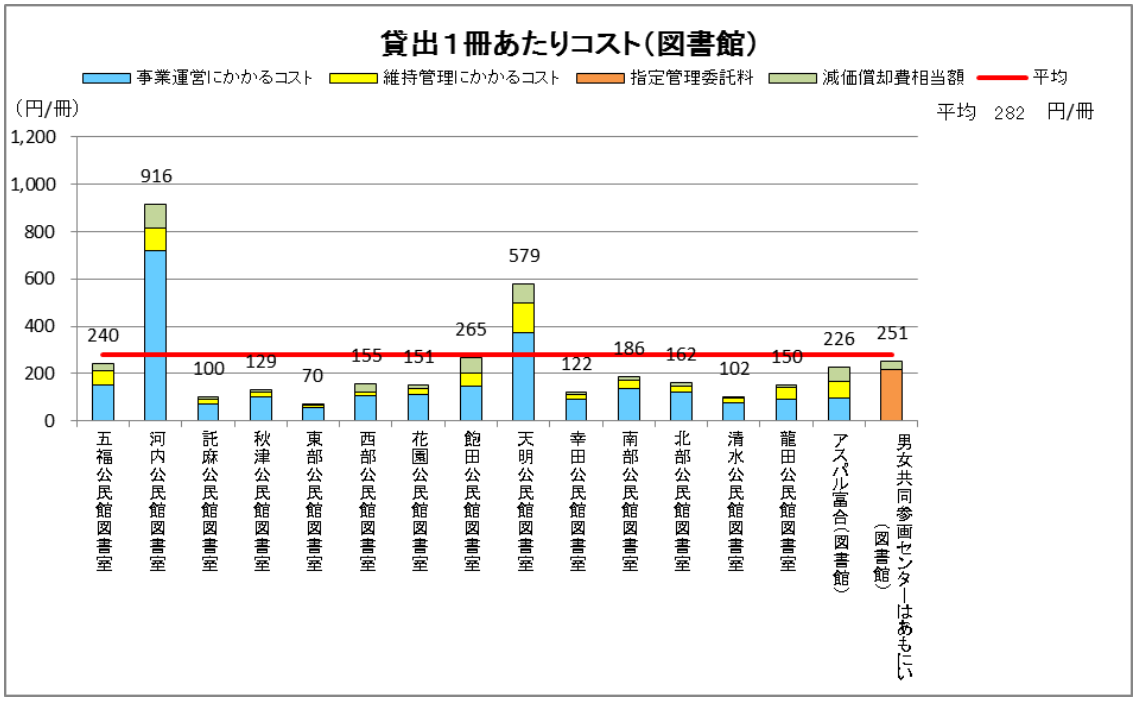
※移動図書館を除く

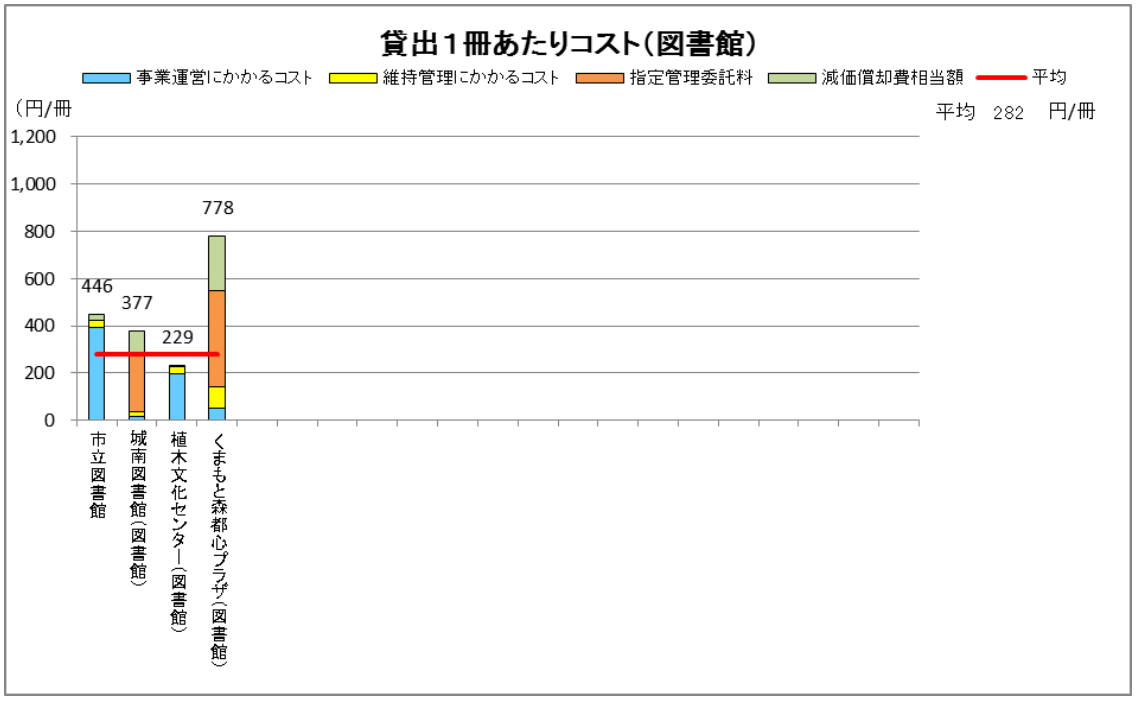
④評価・分析

施設別の貸出１冊あたりコストの平均は、282 円／冊です。

市立図書館、くまもと森都心プラザ以外では、河内公民館図書室の １ 冊あたりコストが平均の３倍程度、天明公民館図書室が平均の２倍程度と高い状況です。

図表　施設別の貸出１冊あたりコスト（平成 29 年度）

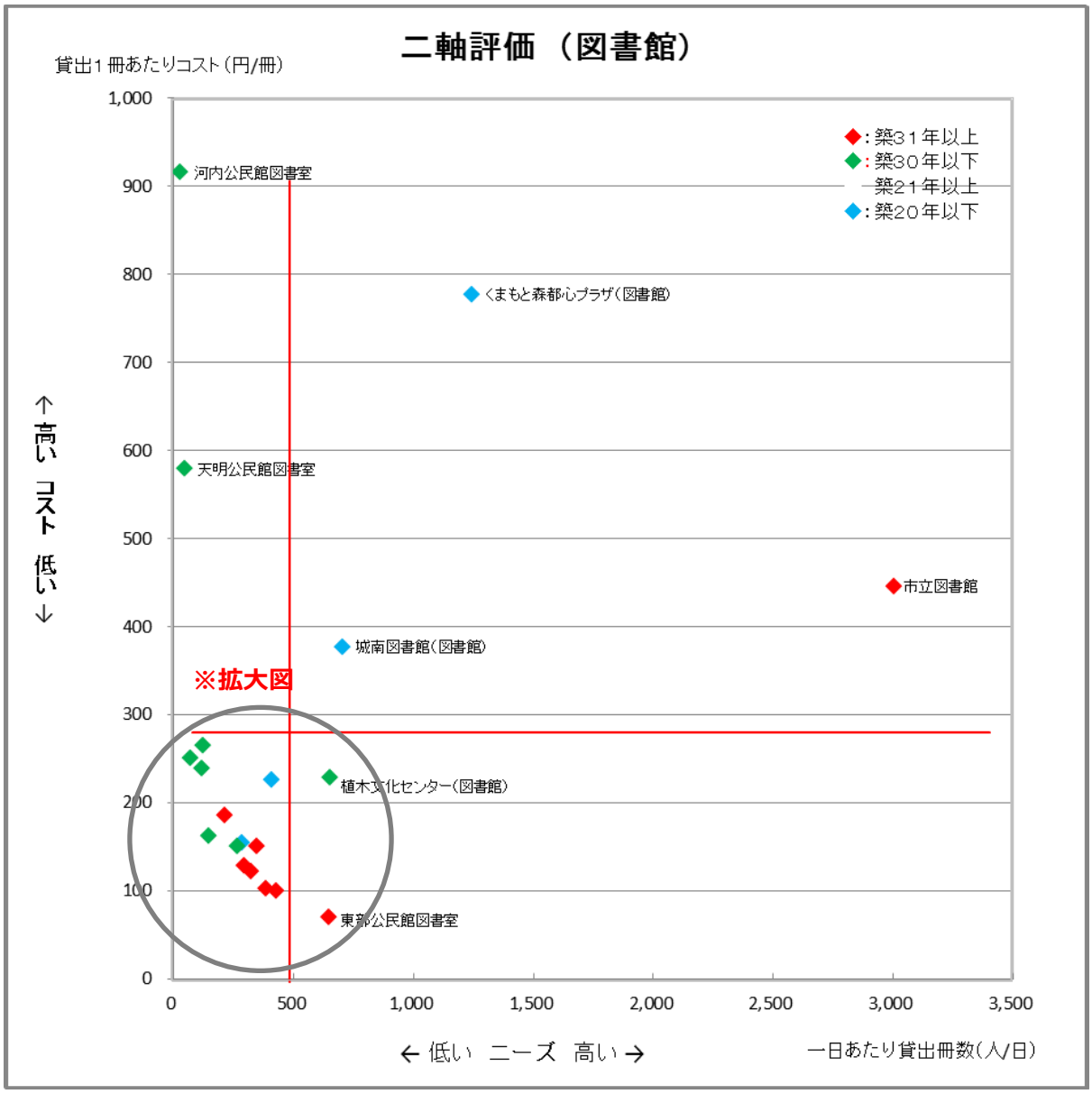


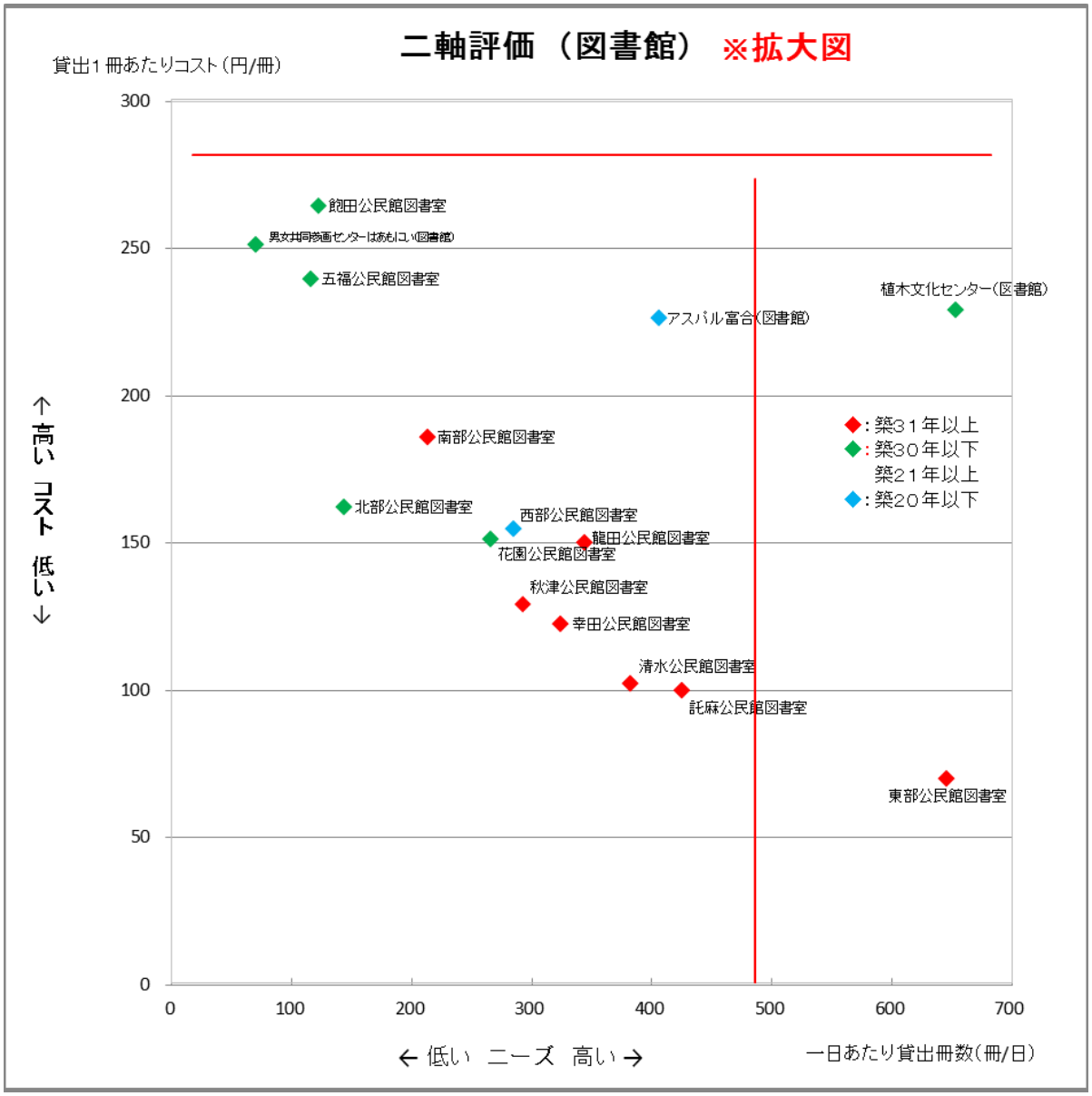


※移動図書館を除く

下図では、コストを貸出 1 冊あたりコスト、ニーズを一日あたり貸出冊数として各施設をプロットしています。横軸である一日あたり貸出冊数の平均は 486 冊で、縦軸である貸出 1 冊あたりコストの平均は 282 円です。市立図書館とくまもと森都心プラザの一日当たり貸出冊数は突出して多い状況です。その他の施設のうち多くは、コストが低くニーズが低い象限に集中しています。これを拡大すると（次頁）、貸出 1 冊あたりコストは、概ね 100 円から 260 円の範囲に、貸出冊数は約 70 冊から約 430 冊の範囲に分散しています。当該象限だけでも、1 日あたり貸出冊数には約 6 倍の開きがあります。

図表　二軸評価（平成 29 年度）




二軸評価（図書館） ※拡大図
貸出1冊あたりコスト（円/冊）
300
250
200
150
100
50
0
↑高い コスト 低い↓
飯田公民館図書室
男女共同参画センターはあもにい(図書館)
五福公民館図書室
アスパル富合(図書館)
植木文化センター(図書館)
南部公民館図書室
北部公民館図書室
西部公民館図書室
龍田公民館図書室
花園公民館図書室
秋津公民館図書室
幸田公民館図書室
清水公民館図書室
託麻公民館図書室
東部公民館図書室
◆:築31年以上
◆:築30年以下
築21年以上
◆:築20年以下
0
100
200
300
400
500
600
700
← 低い ニーズ 高い →
一日あたり貸出冊数(冊/日)

3）既存計画の概要

①図書サービスのあり方について（平成 27 年 3 月）～あり方検討のまとめ～　※一部抜粋

NO.	あり方検討項目	実現に向けた取組の方向性
2	開館時間・日数について	・開館時間・日数の見直しについては、利用促進が図られるよう、各図書館のサービス対象地域の実情や利用者や住民の生活時間等に配慮し、開館時間・開館日数の延長を検討します。
3	貸出・返却サービスについて	・貸出・返却が可能なサービススポットの設置、電子図書貸出等の新たなサービスの導入について検討を行います。 ・移動図書館については、それぞれの地域の実情を勘案し、巡回場所を見直すとともに、効率的かつ効果的な代替サービス導入を検討します。
6	施設設備の充実	・図書館内環境については、生涯学習の場として、誰でも安全かつ快適に利用できる快適な図書館環境と高齢者や障がいのある方、外国人などにとっても利用しやすいユニバーサルデザイン化を目指します。 ・利用者の多様な利用目的に対応し、個人での学習、親子で本に親しむ体験、高齢者の有意義な時間活用、利用者相互の交流などに対応できる環境整備に努めます。
7	他の図書館や施設・機関との連携	・図書館の利用促進に向けた取り組みを推進するうえで、他の図書館や施設・機関との連携は重要であり、他の図書館や施設・機関との積極的な連携に努めます。
8	図書サービスへのICT活用方針について	・タブレット型情報端末の普及に対応するため無線 LAN の導入、商用データベースの充実、図書情報発信にむけたSNSの活用など情報化の進展に対応した環境整備に努めます。 ・利用者及び地域住民の課題解決に役立つ情報提供や図書サービスの利便性向上などへの ICT 利活用にむけて、積極的に情報収集及び調査研究に取り組みます。

②主な取組実績等

年度	取組内容等
H27	・とみあい図書館の開館時間を延長（平日：午後7時まで，土・日・祝日：午後6時まで） ・市立図書館、分館でくまもと Wi-Fi が使用できる環境を整備
H28	・植木図書館の土・日・祝日の開館時間を午後6時まで延長 ・市立図書館の平日の開館時間を年間を通して午後7時まで延長 ・連携中枢都市圏構想に基づく近隣市町村との図書館の相互利用を開始
H29	・県立図書館の県内図書館横断検索システムへの参加 ・全館での雑誌バックナンバー貸出開始

4）総合管理計画における施設分野別方針

【総括的事項】

・行財政改革計画に基づき、運営体制を含めたサービスの見直しや施設の利用活性化に向けた検討を行います。

方針1　資産総量の適正化

・利用が低迷している図書館については、施設の必要性について検討を行い、再編や統廃合を進めます。

方針3　施設運営に要する総コストの削減

・公民館のあり方見直しと併せて、施設の老朽化対策を進めますが、例えば学校の空き教室の活用など、既存の公共施設の用途転用を含めて今後のあり方を検討します。

（8）社会教育系施設：博物館等

1）施設概要

本市の博物館等は、9 施設あります。総延床面積は約 1 万 8 千㎡で、市が保有する施設の 0.7%を占めます。築年数の状況は、築 31 年以上の施設が 6 施設、築 21 年以上 築 30 年以下が 1 施設、築 20 年以下が 2 施設です。

① 施設一覧（平成 30 年 4 月 1 日現在）

No	名　称	所 在 地	建築年度	築年数	延床面積（㎡）	備考
1	現代美術館	中央区上通町 2 番 3 号	平成 13 年	17	6,415.91	
2	熊本博物館	中央区古京町 3 番 2 号	昭和 52 年	41	7,548.98	
3	徳富記念園	中央区大江 4 丁目 10 番 33 号	昭和 44 年	49	336.00	
4	リデル、ライト両女史記念館	中央区黒髪 5 丁目 23 番 1 号	大正 8 年	99	340.68	
5	後藤是山記念館	中央区水前寺 2 丁目 6 番 10 号	平成 8 年	22	263.94	
6	横井小楠記念館	東区沼山津 1 丁目 25 番 91 号	昭和 57 年	36	456.00	
7	三賢堂	西区島崎 5 丁目 32 番 27 号	昭和 11 年	82	437.33	
8	塚原歴史民俗資料館	南区城南町塚原 1924 番地	昭和 58 年	35	1,407.28	
9	田原坂西南戦争資料館	北区植木町豊岡 858 番地 1	平成 27 年	3	690.41	
合　計					17,896.53	

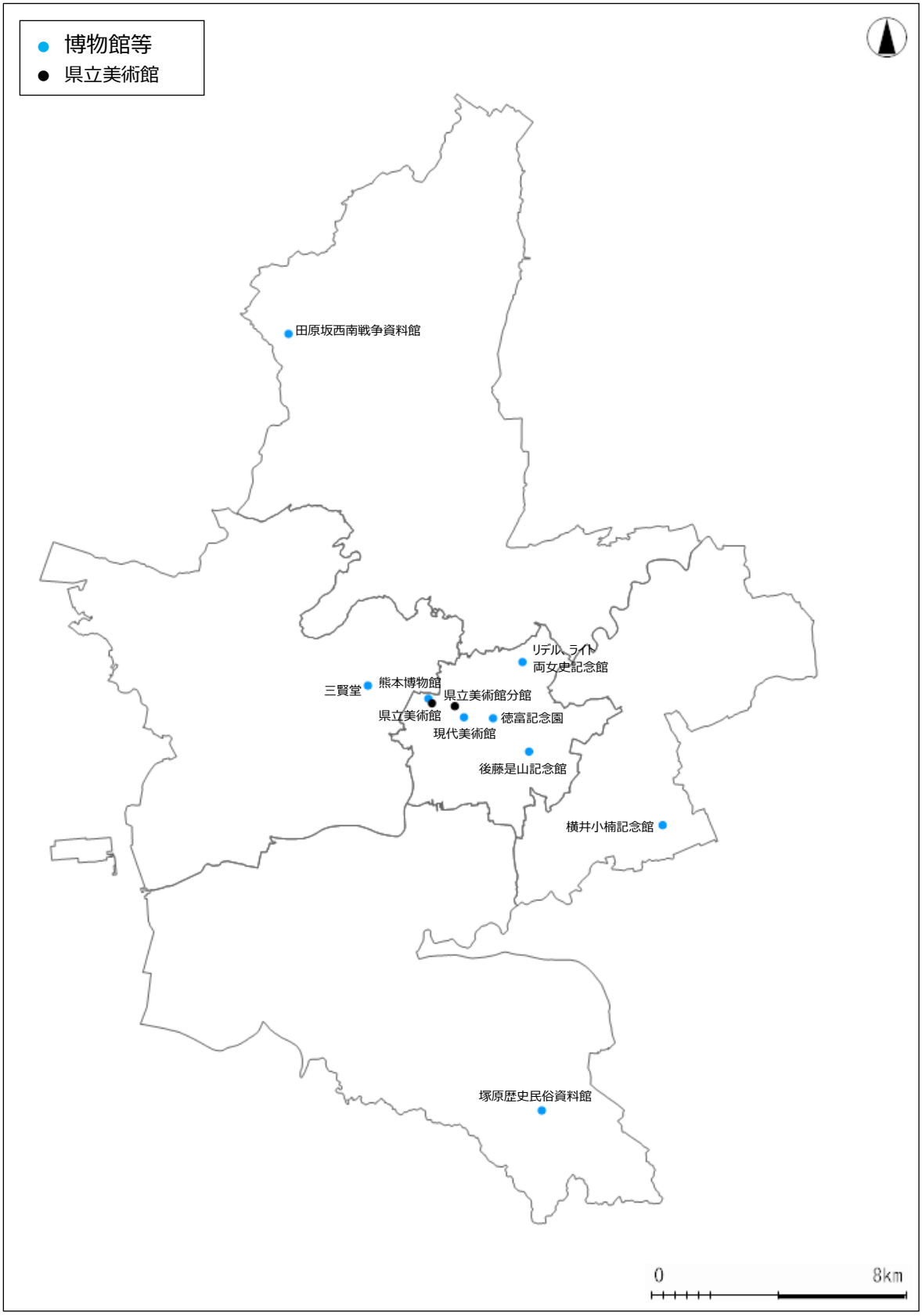
※ 国・県・市指定文化財については、対象施設から除く

（参考）市所有の指定文化財（建築物）

名　称	所 在 地	
旧細川刑部邸	中央区古京町 3 番 1 号	県指定文化財
熊本洋学校教師ジェーンズ邸	中央区水前寺公園 22 番 16 号	県指定文化財
明治天皇小島行在所	西区小島 7 丁目 6 番 18 号	市指定文化財
四時軒	東区沼山津 1 丁目 25 番 91 号	市指定文化財
徳富旧邸	中央区大江 4 丁目 10 番 33 号	市指定文化財
小泉八雲熊本旧居	中央区安政町 2 番 6 号	市指定文化財
御馬下の角小屋	北区四方寄町 1274 番地	市指定文化財

②配置状況

図表　施設配置図：全体（平成 30 年 4 月 1 日現在）



2）実態把握

①運営状況（平成 30 年 4 月 1 日現在）

No	名　称	運営時間	休 館 日	運営日数	運営方法 （直営、指定管理）	入館料等
1	現代美術館	10:00～20:00	火曜日（当該火曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日）・年末年始	308	指定管理 （利用料金）	有
2	熊本博物館	9:00～17:00	月曜日（月曜日が休日にあたるときはその直後の休日でない日）・年末年始	※1　0	直営	有
3	徳富記念園	9:30～16:30		306	直営	無
4	リデル、ライト両女史記念館	9:30～16:30		※2　0	指定管理	無
5	後藤是山記念館	9:30～16:30		306	直営	無
6	横井小楠記念館	9:30～16:30		※2　0	直営	無
7	三賢堂	9:00～17:00		306	包括委託	無
8	塚原歴史民俗資料館	9:00～16:30		212	直営	有
9	田原坂西南戦争資料館	9:00～17:00	年末年始	359	直営	有

※1　熊本博物館については、リニューアル工事のため、平成 29 年度中は全面休館（H30.12.1 にリニューアルオープン）

※2　熊本地震からの復旧工事のため休館

徳富記念園

横井小楠記念館

後藤是山記念館

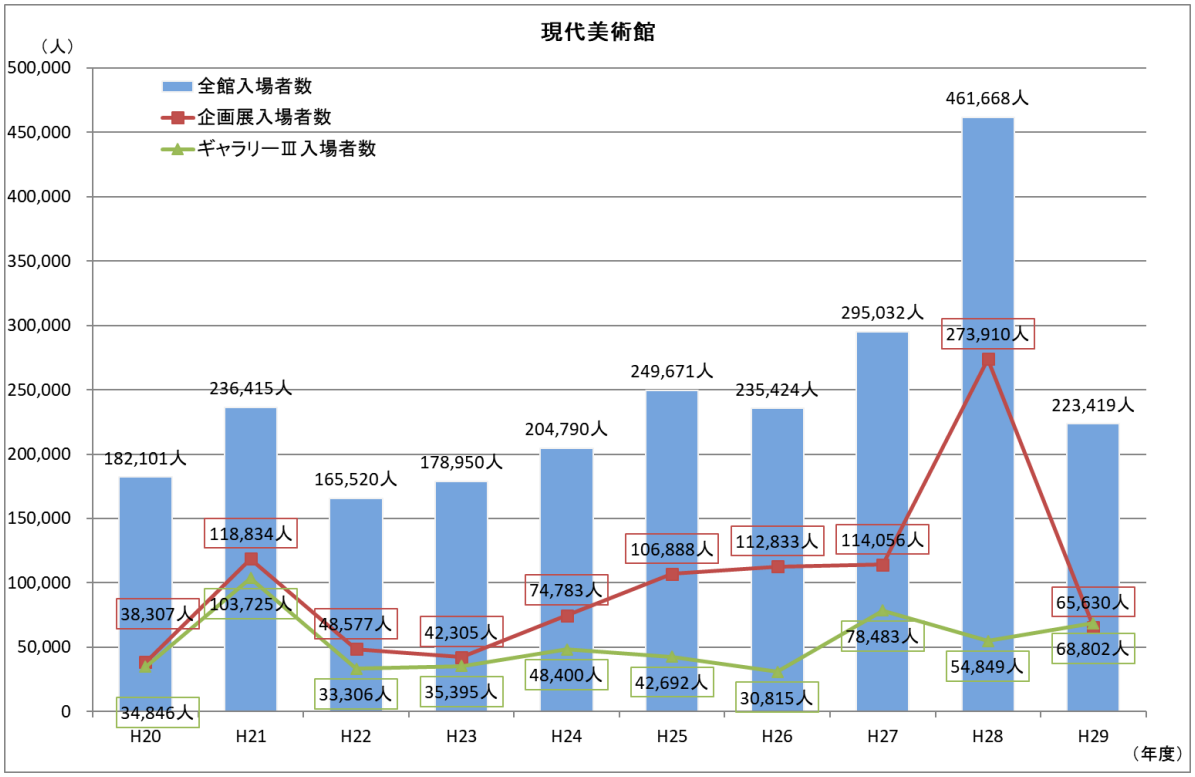
リデル、ライト両女史記念館

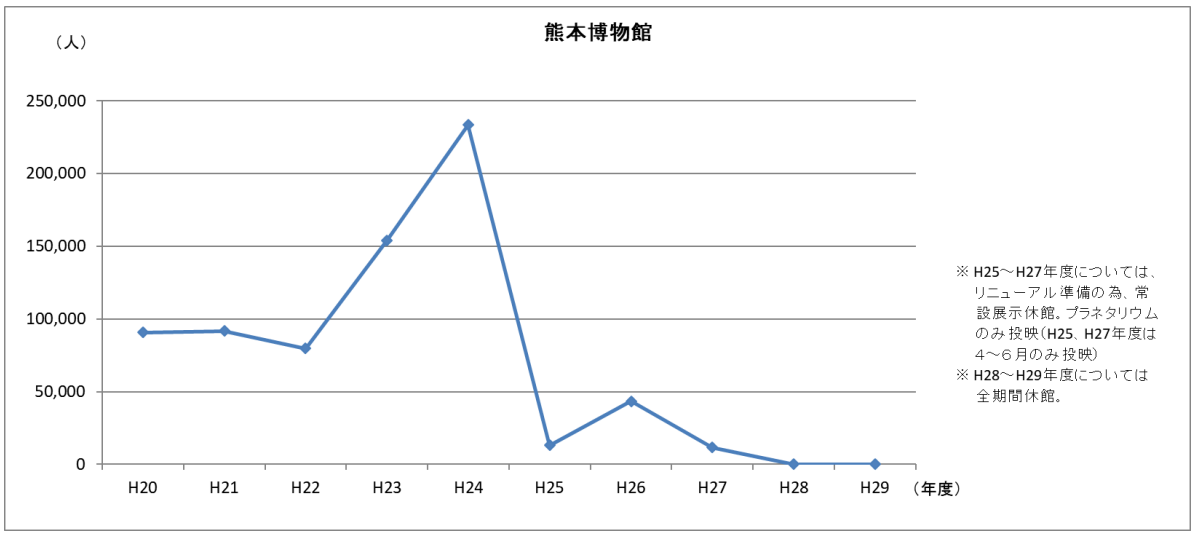
三賢堂

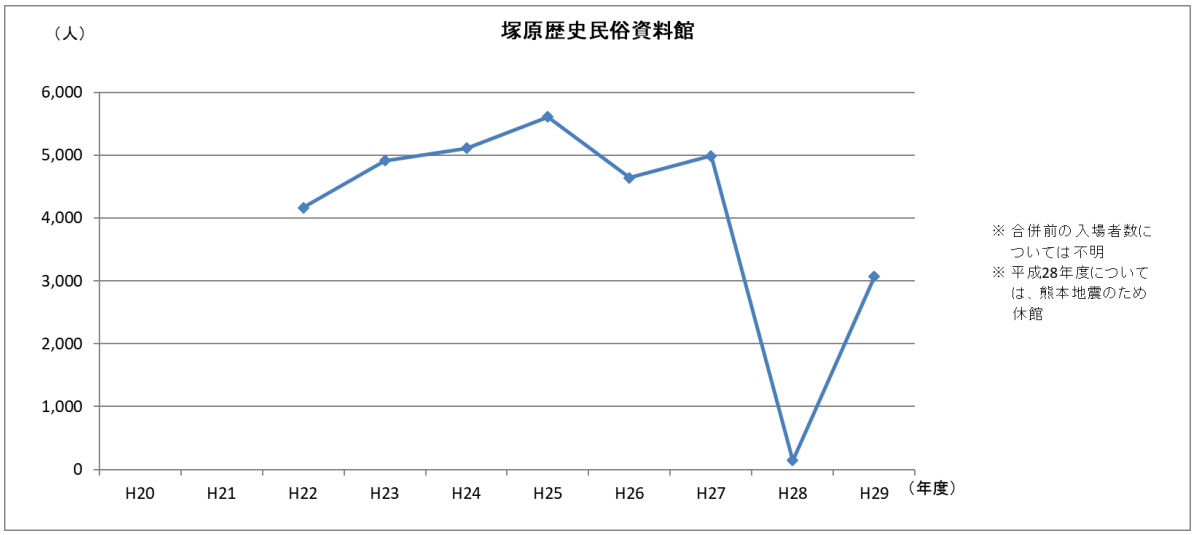
②利用状況

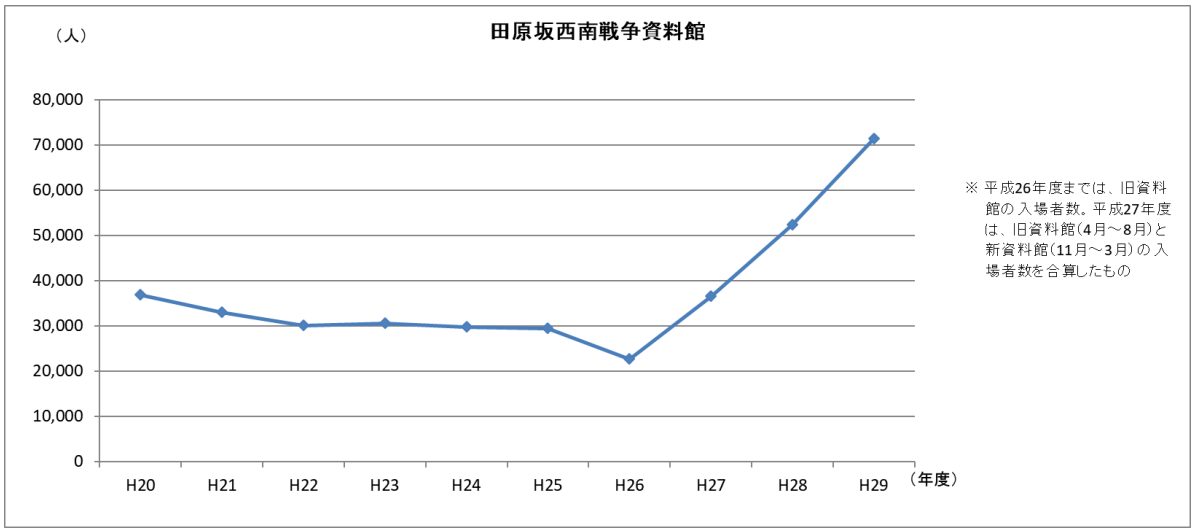
現代美術館は、近年 20 万人を上回る入館者となっています。熊本博物館の入館者は、小惑星探査機「はやぶさ」帰還カプセル特別公開（平成 23 年度）や恐竜展（平成 24 年度）などの開催により増加していましたが、リニューアルのため平成 25 年から平成 27 年までは、プラネタリウムのみ投映を行っていました（現在はリニューアル工事を終え、平成 30 年 12 月から開館）。旧田原坂西南戦争資料館は、平成 20 年の約 3．7 万人をピークに減少していましたが、平成 27 年 11 月には新資料館がオープンし、入館者数も増加しています。塚原歴史民俗資料館以下、その他の施設の入館者数については、概ね 1 万人以下で推移しています。

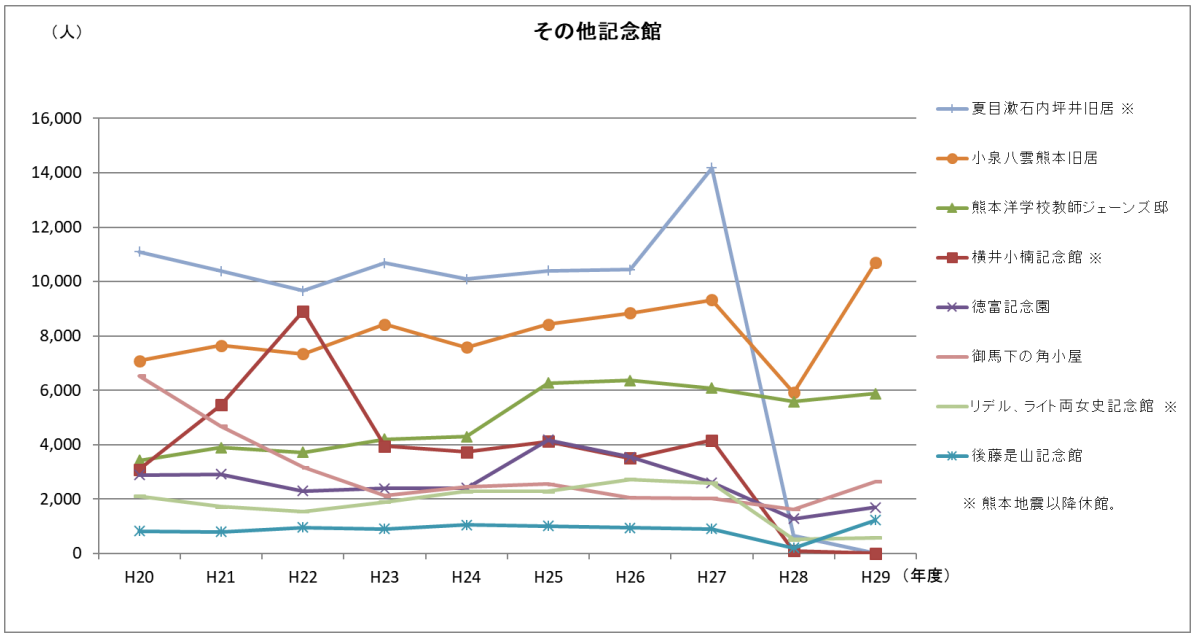
図表　入館者数の推移（平成 20 年度～29 年度）






塚原歴史民俗資料館
（人）
6,000
5,000
4,000
3,000
2,000
1,000
0
H20
H21
H22
H23
H24
H25
H26
H27
H28
H29
（年度）
※ 合併前の入場者数については不明
※ 平成28年度については、熊本地震のため休館


田原坂西南戦争資料館
（人）
80,000
70,000
60,000
50,000
40,000
30,000
20,000
10,000
0
H20
H21
H22
H23
H24
H25
H26
H27
H28
H29
（年度）
※ 平成26年度までは、旧資料館の入場者数。平成27年度は、旧資料館（4月～8月）と新資料館（11月～3月）の入場者数を合算したもの

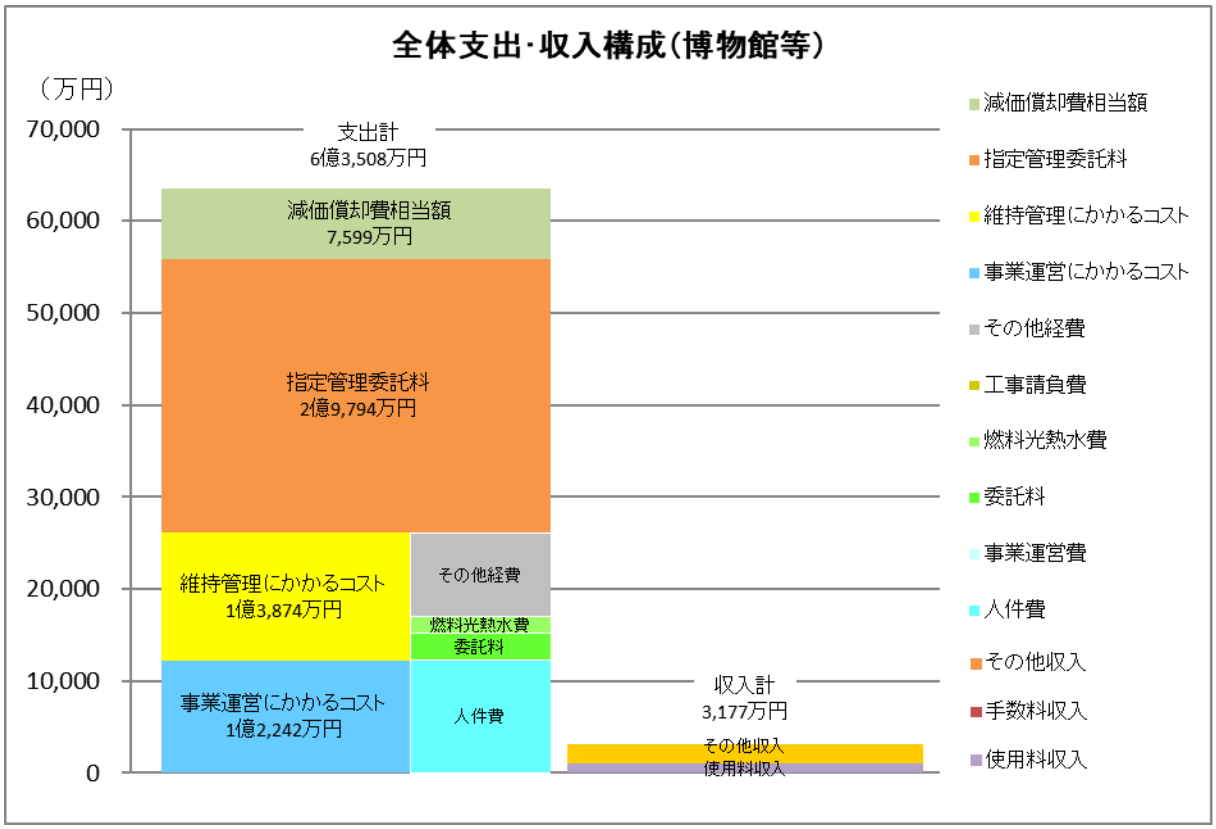

その他記念館
（人）
16,000
14,000
12,000
10,000
8,000
6,000
4,000
2,000
0
H20
H21
H22
H23
H24
H25
H26
H27
H28
H29
（年度）
夏目漱石内坪井旧居 ※
小泉八雲熊本旧居
熊本洋学校教師ジェーンズ邸
横井小楠記念館 ※
徳富記念園
御馬下の角小屋
リデル、ライト両女史記念館 ※
後藤是山記念館
※ 熊本地震以降休館。

② コスト状況

年間トータルコストは、6 億 3,508 万円です。このうち、減価償却費は 7,599 万円（12%）で、指定管理委託料は 2 億 9,794 万円（47%）、維持管理にかかるコストは 1 億 3,874 万円（22%）で、事業運営にかかるコストは 1 億 2,242 万円（19%）となっています。

施設別では、現代美術館が 4 億 2,044 万円で全体の 66%を占めています。次いで、熊本博物館が 1 億 5,440 万円で全体の 24%を占めています。

図表　全体コスト（平成 29 年度）



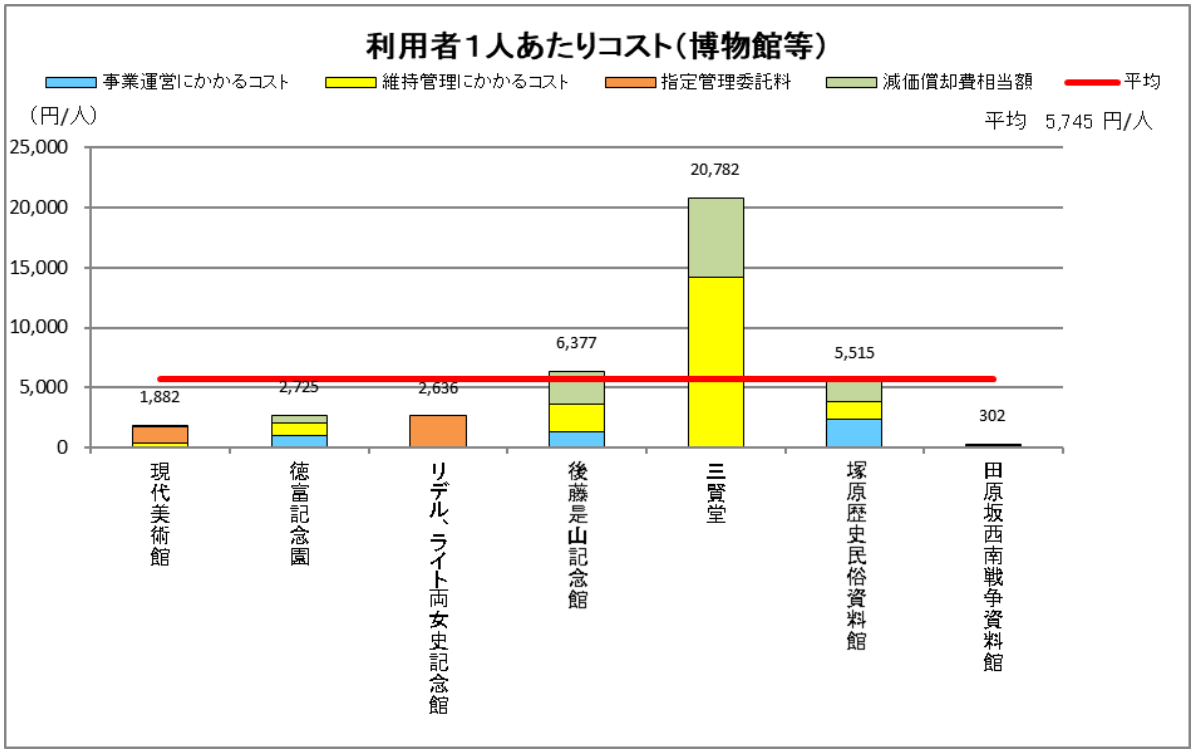
図表　施設別コスト一覧（平成 29 年度）

No	施 設 名	支出 （円）					収入計（円）
		事業運営費	維持管理費	指定管理費	減価償却費	支出計	
1	現代美術館	0	89,674,684	296,410,456	34,351,200	420,436,340	21,612,889
2	熊本博物館	104,038,000	27,812,319	0	22,547,060	154,397,379	0
3	徳富記念園	1,644,000	1,765,017	0	1,209,600	4,618,617	0
4	リデル、ライト両女史記念館	0	0	1,526,040	0	1,526,040	0
5	後藤是山記念館	1,641,480	2,756,230	0	3,426,424	7,824,134	0
6	横井小楠記念館	1,679,160	2,211,372	0	1,641,600	5,532,132	0
7	三賢堂	0	1,547,383	0	717,844	2,265,227	0
8	塚原歴史民俗資料館	7,323,220	4,552,030	0	5,056,208	16,931,458	213,328
9	田原坂西南戦争資料館	6,090,384	8,417,494	0	7,038,815	21,546,693	9,944,524

③ 評価・分析 ※二軸評価は割愛しています。（P11 参照）

施設別の利用者 1 人あたりコストの平均は、5,745 円／人です。

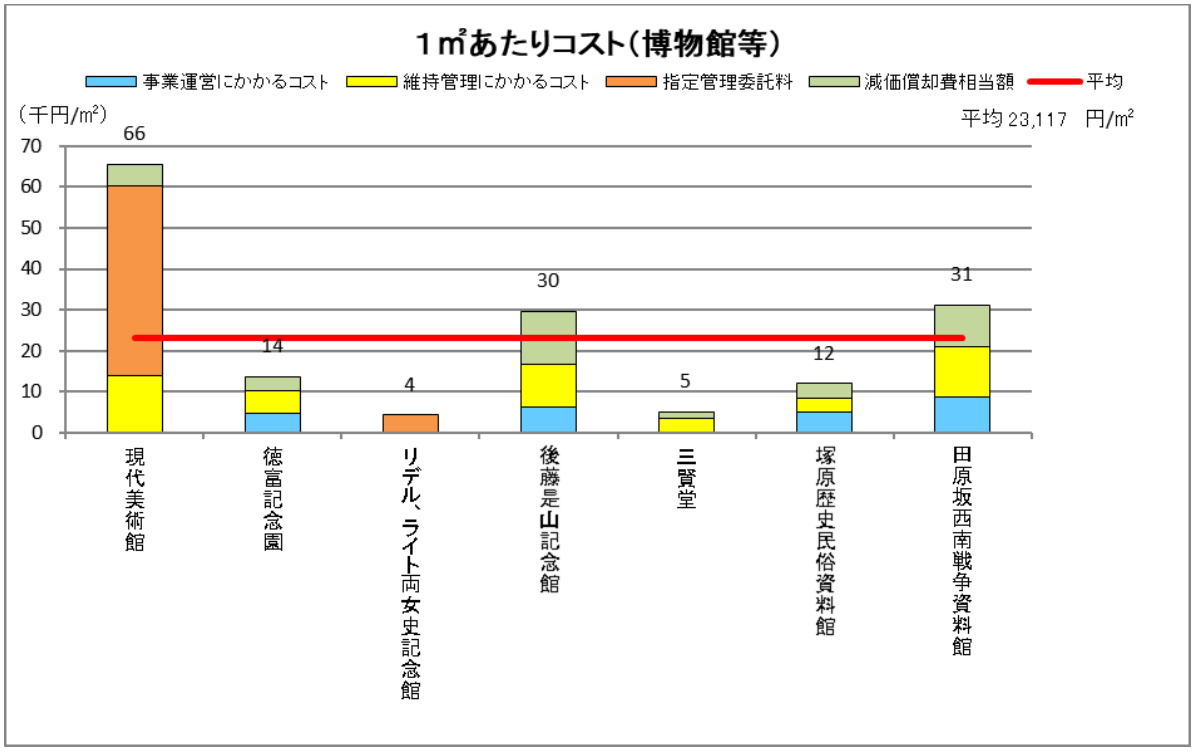
図表 施設別の利用者 1 人あたりコスト（平成 29 年度）



※平成 29 年度休館していた熊本博物館、横井小楠記念館は除く。

施設別の延床面積 1 ㎡あたりコストの平均は、23,117 円／㎡です。

図表 施設別の延床面積 1 ㎡あたりコスト（平成 29 年度）



※平成 29 年度休館していた熊本博物館、横井小楠記念館は除く。

3）既存計画の概要

①博物館改修工事の概要

平成 22 年に報告された『熊本博物館のリニューアルに関する検討結果について（報告）』を受けて、「熊本市の政令指定都市移行を機に、熊本博物館を政令指定都市にふさわしい総合博物館として生まれ変わらせ、市民や県民、さらに熊本を訪れる観光客にも親しまれる博物館とする」ため、『熊本博物館リニューアル基本構想・基本計画』が策定されました。

その後、地盤等の詳細調査を踏まえ、国等との協議を進めつつ、リニューアル事業が進められています。リニューアル事業の概要は以下のとおりです。

- 国指定重要文化財「細川家舟屋形」を展示公開するとともに、国指定重要文化財・才園古墳出土品の展示コーナーを新たに設置します。
- 人文系の展示は、装飾古墳や加藤・細川家、西南戦争、城下町などの熊本の特徴的な歴史を紐解くものに力を置きます。
- 自然系の展示は、市内にとどまらず、熊本県博物館ネットワークセンターと連携し、県内の特徴的な動植物や地質を紹介します。
- 博物館機能と、博物館の役割を紹介する展示コーナー（収蔵展示室）を設けます。
- 子どもたちが楽しく活動しながら自然科学の原理や技術・歴史・伝統文化などを体験的に学ぶ場所として「実験・工作室」をつくります。
- 黒川紀章氏のデザインを壊さないようにしながらも、収蔵庫の拡大、空調やトラックヤードの整備などの博物館機能をより高めます。
- 国宝・重要文化財等を展示する「公開承認施設」に対応した設備を目指します。

また、同時に以下の施設整備を行います。

- 吹き抜け空間を二層化し、展示・収蔵空間を増やします。
- 設備改修を進めます。
  - ➢ 冷暖房効率が良くなり、省エネ化が進みます。
  - ➢ 授乳室の設置やトイレの洋式化などにより、いろいろな人々が使いやすくなります。

4）総合管理計画における施設分野別方針

方針2 施設の長寿命化の推進

・現代美術館や熊本博物館は、熊本連携中枢都市圏構想においても一定の役割を担う公共施設であり、更なる魅力の向上に努めつつ適切なメンテナンスによって、施設の長寿命化を図ります。

方針3 施設運営に要する総コストの削減

・その他の施設については、運営手法の見直しや利用活性化に向けた対策を進めつつ、老朽化が進んでいる施設については、今後のあり方を検討したうえで、改修や更新の方針を決定します。